

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

学校で家庭教育学級「児童期ワイワイ学習会」が開催できた！
～ふれあいスクール事業（公民館出前型）～

- 4.5 **2** トピックス 第60回 新潟県公民館大会は燕市で
- 3** 視点 「おぢや・わいわいスポーツ」スポーツ少年団
- 3** ひろば 夢の42.195km
- 6** 実践記録シリーズ 三条市通学合宿事業の取り組みについて
- 7** サークル交流 季節の花を作る喜び（村上市）／共に楽しむ幸せ（湯沢町）
- 7** 素顔拝見 麦倉 静子さん（三条市）／大滝真紀子さん（上越市）



「明星大学交流事業」
魚沼市

表紙解説

毎年好評の明星大学交流事業での場面。東京の大学生たちが、魚沼は銀山平でキャンプを行い自然を満喫しています。



新潟県公民館大会が60回目を迎えます。
 今までの歴史と実践に学び、それを基礎とし、さらに地域及び住民と歩むきっかけとなる大会をめざして準備を進めております。
 物づくり、観光の泉地の地で、大勢の皆様ので参加をお待ちしております。

大会実行委員長 加茂市公民館 佐藤 俊夫

第60回 新潟県公民館大会 (案)

大会主題

「社会教育法改正に伴い公民館がもたられること」

1. 趣旨

昭和24年に「社会教育法」が制定され、幾多の改正を重ねて、今年で制定60周年を迎えました。今日の公民館を取り巻く状況は、市町村合併による機構改革、指定管理者制度導入、予算減・職員減、及び地域住民の公民館への多様な期待など、時代とともに大きく変わってきました。

また、平成18年12月「教育基本法」の改正が行われ、それを受け平成20年6月に「社会教育法」が一部改正されて、法整備もすすみました。その主な改正点は、国及び地方公共団体の任務には「生涯学習の振興に寄与し」、「学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資する努力」が新設されました。市町村教育委員会事務には「児童生徒に対し、放課後や休業日に、学校や社会教育施設を利用して学習の機会を与えること」や「社会教育の学習の成果を活用して、学校や地域で多様に活動できるよう、活用機会の提供及び奨励」が追加されました。公民館運営には「運営の評価とその結果に基づいた運営の改善」と「地域住民等への公民館の運営状況の積極的な情報の提供」などが明記されました。

このことは、公民館活動がこれまで以上に地域住民や利用者の視点に基づいた評価とその改善を行うことにより、学校、家庭、地域連携の拠点として役割を果たし、地域に根ざした教育の向上を期待されているところにはかなりません。

社会教育法60周年を節目に、本大会は、「社会教育法改正に伴い公民館がもたられること」を大会主題と設定し開催いたします。今後の公民館活動の一層の充実、進展に役立てようとするものです。

- 主催 新潟県公民館連合会 中越地区公民館連絡協議会
- 共催 新潟県教育委員会
- 主管 加茂市教育委員会 田上町教育委員会 弥彦村教育委員会 加茂市公民館 加茂市公民館 田上町公民館 弥彦村公民館
- 後援 新潟県市長会 新潟県町村会 外関係機関・団体 各報道機関
- 日時 平成21年7月17日(金) 午前10時 開会
- 会場 燕市文化会館

- 参加者 市町村長 同議会議長 同議会議員 同教育委員 同社会教育委員 同公民館運営審議会委員 同公民館長 主事 職員 社会教育主事 社会教育指導員 学校教職員 社会教育関係団体役員、一般市民
- 日程 9:30 受付 開会式 表彰式 基調講演 昼食 フトラクシヨソ 事例発表・協議 閉会式 10:00 10:30 12:00 12:45 13:00 15:00 15:20

- 基調講演 演題 「法改正と公民館」(仮題) - 社会教育法改正にかかわる公民館運営の方向性 - 講師 坂本 登様 ●常磐大学コミュニケーション学部教授 ●著書：『生涯学習概論』(理想社、2002年)、『変化する時代の社会教育』(全社連、2004年)、『新社会教育委員手帳』(日常出版、2005年)

- フトラクシヨソ 踊る魂『酒呑童子』(燕市よさこいチーム)
- 事例発表・協議 新潟市 下越地区 上越地区 3地区
- 参加費 大会資料代1,500円、昼食代(弁当、お茶付)700円
- 申込み 参加者は所定の形式により、市町村ごとに取りまとめの上、6月30日(火)までに大会事務局(加茂市)までメールで申し込んでください。後日案内文書を発送いたします。

15. 大会事務局
 〒959-1372 加茂市大字加茂229番地1 加茂市公民館内
 第60回新潟県公民館大会実行委員会事務局
 TEL 0256-52-1953 FAX 0256-52-2180 E-mail:kominkan@city.kamonomiigata.jp

視点

「おぢや・わいわいスポーツ」 スポーツ少年団



代表 遠藤 則子

昨年四月より、毎週水曜の放課後、学校体育施設を使用してさせていただいて、スポーツ少年団活動をしています。送迎の心配もなく安全な環境で運動が出来るので、お家の方からも大変喜ばれています。

「おぢや・わいわいスポーツ」と名付け、低・中学年の児童に一つの種目に限定せず、鬼ごっこや器械体操、ボール運動など、多様な運動を楽しんでもらっています。

神経系の発達が著しいこの時期の子どもには、自転車乗りで代表されるような「からだで動きを覚える」体験がたくさん必要。遊び中心のメニューの中にも、大切な要素を多く盛り込むように工夫しています。

そして、その活動の中から「野球やってみたら?」「陸上競技が向いているかも?」など、その子にあった種目を見つけてあげること、私たちの役目と考え指導しています。

HOT NEWS 掲示板

新潟県社会教育団体懇話会事務局長会開催

◇期 日 平成21年1月27日(火) 14:00~
◇会 場 県立生涯学習推進センター 大研修室
出席: 8団体
全体進行: (社)新潟県社会教育協会 田中正雄

◇次 第
1 開 会
2 自己紹介
3 情報提供
① 県生涯学習推進課: 平成21年度の重点事業等の見直しについて
・「第2次生涯学習推進プラン」の周知及び施策の推進
・家庭・地域の教育力の向上: 「社会全体で子どもを育む運動」の推進
「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」について
・青少年の体験活動の推進(指導者の育成)
・県立図書館の充実に向けた取組(喫茶室の設置等)
② 県立生涯学習推進センター: 平成21年度の重点事業等の見直しについて
・センターで実施した研修内容等を職員が市町村に出かけて伝達
・生涯学習情報の収集と提供 ・相談業務
・各種研修の実施 ・学習機会の提供・充実
・視聴覚教育の推進 ・その他

4 情報並びに意見交換(進行: 県公連相澤)
① 各団体から資料に基づき情報交換
② 質疑並びに意見交換
活発な意見交換が行われ、各団体に共通する課題も見られた。
・会員数の減少に伴う予算の削減等により、事業の見直し等が必要な団体が多い。
・今後、各団体間に共通したテーマを設定し、連携した取組と情報交換を進める。具体的なテーマについては、今後さらに検討する。

5 閉会

今年の走り初めは、元旦、初日の出を浴びながら、沖縄の海岸線を走るといふ幸せに恵まれました。

私のジョギング歴は10年を過ぎた所ですが、運動神経もなく、中学生の時の長距離測定がクラス最下位だった私が、よく続いたなあと思っています。

でも、お金がかからず自由な時間にマイペースで出来るジョギングは、私の性格に合っていたのでしよう。走っている時の爽快感を味わいたくて、今日に至っています。

市民ランナーとして、



新潟市中地区公民館運営審議会委員 長谷川郁代

地元のロードレース等に、10kmやハーフマラソンに参加していたのですが、なんと7倍の抽選に当たり、今年の東京マラソンに出走が決まりました!

目標は、もちろん完走です。

おもに、信濃川やすらぎ堤と自宅近くの沈埋トンネルでトレーニング中です。見かけたら、応援して下さいね。

夢の42.195km

ひろば



童期プログラムの学習会が開催できました！ ～ 一儿事業（公民館出前型）～



らいは、参加者が今より少しだけ広い見方、深い考え方を獲得できるようにしていきことである。つまり、家庭、地域、学校とのつながりの中で、また他者との関係性の中で子育てを考えられるようになることである。このねらいを達成するために「参加する親たちはいま公民館で何を学ぶことが必要であり、有効なのか」を学習プログラム全体に貫く視点として組み立てた。詳しくは、チラシで確認いただきたい。

初年度の19年度は低学年コース3回、高学年コース2回の計5回の連続講座を実施し、2年目の今年度は、2回コースを7月、10月、12月の3期に分けて実施した。これは決められた曜日の連続講座では都合が悪いと全て参加できないという声に応えて、2年目に時期と曜日に変化をつけた結果である。

3 当日の様子

学校行事の日でもなければ、わが子以外の学校のふだんの様子を見学できる機会はない。今回の学習プログラムは先ず校内見学からスタートした。会場の万代長嶺小学校は各学年2クラス、作りもオーソナールで教室の廊下側の壁がないう。また、給食もほぼ全校児童が4階のラウンルームで摂っているなど、従来型の校舎ではお目にかかれぬ設計である。真柄校長先生から「講座の休憩時間や帰りに際などを利用していつでも校内を見学していただきたい。また休み時間の子どもたちと自由に触れ合ってください。」との声かけもあり、その後も参加者は連れ立って校内を巡り、子どもたちと会話を楽しんでいったようである。授業中の見学も、子どもたちも先生方も見学慣れしているせいもあって、声も聞かずに子どもたちの身近に子どもたちの気配を感じ、声を聞きながらの講座は新



平成20年度2期

4 講座を終了して

解であり、公民館とはまた違う良さがある。毎回、周辺の6、7小学校からの保護者の参加があり、各学校の様子を情報交換するだけでも大変に盛り上がり、毎回の話し合いの時間が足りず、後片付けをしながら続きを話す様子が見られた。参加者は今年度の3期のみ計20人と定員割れをしたが、あとは定員以上の申し込みがあった。



誰よりも講座の開催を心待ちにしていたのは、企画をしたスタッフであった。参加者どうしの関係作りも求められる学級形式事業であり、参加して良かった、よい学びの時間になったと思ってくれるように、一人ひとりへの気配り、班毎の仲間づくりなどの丁寧な対応を行った。その結果、全回を通して和やかな雰囲気を生み、事業アンケートも全回とも参加満足度80%以上となった。スタッフの一所懸命さは参加者に伝わるものである。

5 もう一言

今、地域で活躍している人たちの多くは公民館での学びを経てきた人たちという現実はある。公民館が「機能をもちつづける公民館において他にないことを物語っている。

今、私は公民館の学びによって力をつけて地域の中で活動する皆さんを支援できる喜び、出会った皆さんに育てられている自分を確認できる幸せを感じている。ここに私が描く公民館職員の姿がある。

特集

学校で家庭教育学級「児 ～ふれあいスク



新潟市東地区公民館
非常勤嘱託 高橋 文子

1 時と人に恵まれた

当公民館が平成19年度から地域の小学校へ出前で、それも連続講座を、加えて今年度からは保育室までも校内に設置しての開催が可能になった状況は幸運としかいいようがない。

私が今までかかわった小・中学校はおしなべて公民館への関心はあまり高くなく、アプローチしてもガードが硬かった。一方で学校が管理上、それも授業時間中に関係者以外の人の出入りについて消極的にならざるを得ないことは十分に理解できる。この度は時と人に恵まれた結果と思っている。

〔時〕は平成18年の新潟市「教育ビジョン」の策定である。先ず5つの柱を立ち上げ、その具体化を図っている。この柱のひとつが学、社、民の融合である。新潟市の公民館も「教育ビジョン」に沿って従来型の事業体系の見直しが求められている。当公民館の事業の大幅な見直しと、新潟市公民館が実施する学、社、民の融合事業「ふれあいスクール事業（公民館出前型）」の実施時期が重なったのである。

〔人〕は、家庭教育学級開催の会場校、万代長嶺小学校校長真柄正幸先生と企画運営を共に担った人たちの存在である。万代長嶺小学校は当公民館から徒歩3分と近接し、平成19年4月にあの真柄正幸



平成20年度1期



19年度チラシ



20年度1期チラシ

育実践研究センター（旧国立社会教育研修所）に社会教育調査官として転進され、再び現場へと戻られた方であり、新潟市の公民館は職員研修等で何回もご指導をいただいていた。真柄先生きたるとの情報で館長と早速、表敬訪問に出向いた。そのとき館長と「何かが変わるかもしれませんね。」と話したことを覚えている。結果は、私の学校に対する先入観念を見事に変えた。真柄校長先生の「当校はいつでも地域に開いています。学校は子どもと教師だけのものではありません。学校を活用してください。」で決まりである。



平成20年度1期

そして忘れてはならない人たちがいる。今回の出前事業の企画段階から当日の運営までを担当職員と共に担った「親育ちネットidobata」のメンバーである。この「親育ちネットidobata」とは、平成18年度の児童期家庭教育学級参加者有志が中心となり、地域の教育力、家庭の教育力の向上を目的として主催事業枠で実施している活動の名称である。現在の登録メンバーは16人、この2年間の主な活動は、二つの小学区への出前事業の企画、運営とメンバーのスキルアップ学習会などである。活動の一環として地域に家庭教育の重要性を喚起する学習機会を提供したいと、「児童期ワイワイ学習会」を立ち上げた。参加者世代のこども観、教育観や子育ての現状を捉えて学習プログラムに反映させることができたのは、このメンバーの力に寄るものである。

2 「児童期ワイワイ学習会」の内容

家庭教育学級のテーマや内容は多様にあるが、中身は保護者が子どもとの向き合い方、関係づくりを見直すことにより、家庭教育のあり方について参加者どうしが考え合う時間であると思う。ね

実践記録 131

三条市通学合宿事業の取り組みについて

三条市中央公民館 館長補佐 長橋 勝芳

1. はじめに

この事業は、合併前の平成13年度から下田地区(旧下田村)で取り組んできた事業です。子どもたちが学校へ通いながら家庭を離れて共同生活を行い、様々な体験(学習・食事づくり・洗濯・清掃等)を自主的・主体的・共同的に行うことで、子ども自身や家庭・地域の教育力の向上につながり、よい教育効果をあげていると考えられるため、この事業を広げ、三条市全体として平成19年度から取り組みを実施しています。



2. 内容

期等	内容
第1班：平成20年9月30日(水)～10月4日(土) 4泊5日 よつてげ邸	<ul style="list-style-type: none"> ・市内24の小学校を下田地区、嵐北地区、嵐南・栄地区の3つの地区に分け、募集を小学生6年生を対象(下田地区は5、6年生)にそれぞれ30人(下田地区は20人)としました。 ・下田地区以外を対象を小学6年生に絞った理由は、下田地区と比較して対象児童が多いこと、中1ギャンブル対策としての効果を期待することなどから対象学年を限定したものです。 ・応募状況は、下田地区で18人、嵐北地区で34人、嵐南・栄地区で26人の応募がありました。 ・嵐北地区で定員を4人オーバーしましたが、この事業は6年生が対象で、来年以降の参加は出来ないため、抽選は行わずに全員を参加させることとしました。 ・スタッフは、新潟経営大学と新潟中央短期大学の学生をボランティアとして、連日、宿泊してもらい、子どもたちへの指導や支援を行ってのほか、関係団体として三条市食生活改善推進協議会及び三条市健康推進員協議会の方からスタッフとして協力していただきました。食生活改善推進委員の皆さんからは期間中の朝・夕の食事づくりと子どもたちの食事づくりの指導を、健康推進員の方々からは集団生活でのリナーや入浴・洗濯指導などを行っていただきました。 また、参加児童の保護者にもボランティアを募集し、期間中、食事づくりや子どもたちの生活支援などの協力をいただきました。
第2班：平成20年10月14日(水)～18日(土) 4泊5日 三条市グリーンスポーツセンター	
第3班：平成20年11月11日(水)～15日(土) 4泊5日 三条市グリーンスポーツセンター	

3. 事業の成果

- ①子どもたちは、共同生活を通じて、未体験の場面や戸惑いがあったようでしたが、自分自身で考え行動したり、友だちと協力しながら乗り越えていく中で、やり遂げることを実感し、人間関係を深めることに喜びを感じることができたようでした。
- ②他校の児童の参加により、同世代との集団生活や様々な体験を通して、学校を越えた心のふれあいや交流が図られました。また、子どもたちと関わった学生ボランティアや食生活改善推進委員、健康推進員、保護者の方々などと世代を越えた新しい輪が広がりました。



③子どもたちは、ふだん家事を手伝うことが少なく、参加した児童の家庭からは、食事づくりや掃除など積極的にお手伝いしてくれるようになったという声が寄せられており、親子のふれあいの場づくりの一助になったのではないかと考えています。

4. おわりに

大変な事業であり、運営にあたった支援スタッフや公民館職員も戸惑いながらの実施でしたが、この事業を通して、子どもたちから得たものも多くありました。参加した子どもたち一人ひとりの様子や笑顔が今でも心に残っています。子どもたちが健やかに成長していくことを願っています。



季節の花を作る喜び

アートフラワーさくらの会

私達の会は、村上市婦人会のアートフラワークラブとして活動し、毎年公民館祭りに出品し、皆様に作品を見ていただいておりますが、数年前に婦人会から離れました。

名称もさくらの会とし、月に二回程度、月曜日に、十時から四時まで、先生のご指導をいただき、季節を先取りしながら制作しています。

先生がとてもやさしい方で丁寧に教えて下さるので、楽しくて一日がアツと言う間に



終わってしまいます。

最近、作品を発表する機会が無かったのですが、昨年六月に近所のギャラリーをお借りして、発表する事が出来ました。

今年も楽しみながら沢山の花を制作したいと思います。

村上市・アートフラワーさくらの会

齋藤 芳江 記



共に楽しむ幸せ

やまぶき友の会

私達、やまぶき友の会は、月一回公民館で行われる、家に閉じこもりがちな高齢者の交流の集いのボランティア仲間です。年間の計画を最初に立て、それを元に毎月集いの



終わった後に、次の集いの話し合いをします。事前に準備しなければならぬ物は、みんなで作ったり、また得意な人が用意したり、地元で踊っている踊りを集まって練習をしたりして楽しんでいます。仲間同士のふれあいを楽しみながら、集いに参加して下さった方たちと一緒に、楽しい時間を共にします。仲間も少しずつ増え、集いの内容も広くなってきました。これからもふれあいを大切にし楽しんでいきたいと思えます。

湯沢町

やまぶき友の会
高野 好子 記

麦倉さんが三条市中央公民館に配属になったのは平成19年4月。公民館に来る前から仕事ができるスゴ腕の有名副参事でしたが、今では三条市公民館全体の職員25名(女性14名=正職員2名、嘱託員12名)の中の、唯一頼りになるお姉さんの的な役割を務めていただいている超スーパーレディです。

担当事業は家庭教育講座が中心ですが、そのほか毎日、次から次へとくるあら



三条市中央公民館

副参事 麦倉 静子さん

ゆる相談・問い合わせ・報告依頼を難くこなしながら、庶務の仕事もぜんぶ任せられる有り難い女神のような方です。

男所帯の中央公民館の唯一の華としていつも場を和ませてくれています。願わくば、こんな男どもを見放さないでいつまでもいてください。

(三条市・中央公民館 館長 宗村里士 記)

大滝主任は、公民館1年目にも関わらず、その持ち前の実行力で次々と事業を進めてくれる頼れる先輩です。家庭教育講座や高齢者教室で、若いママや元気なお年寄り相手に「今、輝く☆あなたに」というキャッチフレーズで楽しくするための講座を実践し、大変好評を得ています。教育委員会の幅広い分野の中で、様々な問題・課題に頭を悩ませたり、時には愚痴をこぼしたくなるかもしれませんが、辛抱強く前向きに乗り切っている姿



上越市立公民館 吉川地区公民館

主任 大滝真紀子さん

は見習いたいものです。いつも優しくお茶を入れてくれたりもします。(感謝)

「天地人」で盛り上がっている上越市ですが、私たちの職場においても、お互い助け合って市民の皆さんに喜んでもらえる仕事をしていきたいとみんなで話し合っています。

(上越市立公民館 吉川地区公民館

主任 武田一成 記)

素顔 拝見

三随筆(第11・第12)柳 豊 司(第11・第12) 短歌(第11・第12) 柳 豊 司(第11・第12) 短歌(第11・第12)...



『文藝のそと』は、文芸春秋社から発行されている...

『文芸のそと』は、文芸春秋社から発行されている...

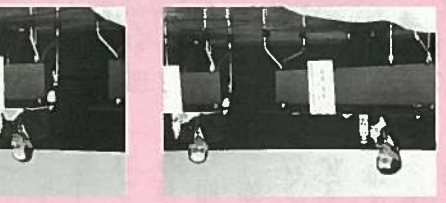
村上市教育委員会 文芸委員募集要項

電話 0442-3514520 住所 新潟県村上市上 33-2 西三丁目1番1号

開催日時 平成21年2月15日(月) 19時30分～21時

協議委員会13市町村では国土安全を急頭におき、地すべり地域の安全と自然環境の保護及び地域振興のため、農業・農村整備事業に於ける地すべり防止対策と関連事業による農業並びに生活基盤の改善を主要施策として積極的に取り組んでいきます。

地すべり被害を未然に防止するための取り組み



平成21年度は、「絆」をキーワードに、いじめ根絶に向けて...

いじめ根絶に向けた県民会議田龍義座長(新潟大教育学部部長)の司会により...

『いじめ根絶フォーラム・座談会』開催 Information